



*Through the eyes of Japanese
and European collectors*

Royal Copenhagen and Scandinavian Design

*Art Nouveau to
Modern*



日欧プライベートコレクション

ロイヤル コペンハーゲンと
北欧デザインの煌めき

アール・ヌーヴォーからモダンへ

2025.10.11 SAT — 12.14 SUN

【開館時間】 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

【休館日】 月曜日（10月13日、11月3日、11月24日を除く）、10月14日（火）、11月4日（火）、11月25日（火）

【観覧料】 一般 830円（660円）、大高生 410円（320円） *（ ）内は20名以上の団体割引料金 *10月28日（火）県民の日は無料

*中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料 *群馬県在住の65歳以上の方は平日のみ2割引

【主催】 群馬県立館林美術館 【後援】 デンマーク王国大使館、スウェーデン大使館 【企画協力】 株式会社プレートラスト *第49回県民芸術祭参加

群馬県立館林美術館

GUNMA MUSEUM OF ART, TATEBAYASHI

〒374-0076 群馬県館林市日向町 2003

TEL.0276-72-8188（代表） FAX.0276-72-8338

<https://gmat.pref.gunma.jp/>

ロイヤル コペンハーゲンと 北欧デザインの煌めき アール・ヌーヴォーからモダンへ



冬の長い北欧の国々では、家の中での暮らしを大切に、食卓を華やかに彩る食器などの生活雑貨に、美しいデザインを取り入れてきました。本展では、デンマークとスウェーデンに焦点をあて、19世紀末から20世紀の陶磁器、銀器、ガラス器を中心に、北欧デザインの魅力を紹介します。

デンマーク王立磁器制陶所を起源とするロイヤル コペンハーゲンは、上質な磁器の生産で早くから国際的な評価を獲得し、北欧アール・ヌーヴォーの先駆けとなりました。同時期に人気を競い合った窯の

ピングオー・グレンダールで陶工としてキャリアをスタートしたジェンセンは、のちに銀製品で名高いジョージ ジェンセンを創業します。

一方のスウェーデンでは、北欧最古の陶窯とされるロールストランドが品格ある陶磁器を送り出してきました。また、同国スモーランド地方では古くからガラス工芸が盛んで、1950年代にはオレフォスやコスタといったガラスメーカーによって芸術性の高いガラス作品が生み出されました。

本展では、日欧の貴重なプライベートコレクションから約200点を選び、アール・ヌーヴォーからモダンへと連なる北欧デザインの流れに迫ります。



左作品から | ◎[染付金彩鶯文皿] ピングオー・グレンダール デザイン: ピエトロ・クローン ペインター: ファニー・ガーダもしくはエフィー・ヒーガマン=リンデンクローネ 1886-1888年 塩川コレクション ◎[浮花付花瓶] ロールストランド 原型: ルベン・リーシング 装飾: アストリッド・エヴェルローフ 1900-1910年 塩川コレクション ◎[ラムセス] 花瓶 オレフォス マルティ・リッコネン 2000年頃 個人蔵 Photo Michael Whiteway ◎[水遊び] 花瓶 (アリエル) オレフォス エドヴィン・オーストロン 1937年 個人蔵 Photo Michael Whiteway ◎[花瓶 (クラウカ)] オレフォス スヴェン・バルムクヴィスト 1950年代 個人蔵 Photo Michael Whiteway | 上部タイトル横作品 | ◎[眠り猫置物] ロイヤル コペンハーゲン 原型: エリック・ニールセン 1923-1928年 塩川コレクション

会期中のイベント



https://gmat.pref.gunma.jp/ *各事業の詳細・申込方法は、HPをご覧ください。直接お問い合わせください。

◎記念講演会

「ロイヤル コペンハーゲン、ピングオー・グレンダールの魅力」 11/9(日) 14:00~15:30 [申込不要・要観覧券・定員130名] 講師: 塩川博義氏(日本大学教授・コレクター)

◎たてび☆びじゅつ部

「青と白のきらめき〜オリジナルペーパーウェイトをつくろう〜」 11/15(土) 13:30~15:30 [申込不要・無料] *自由な時間に参加できます

◎学芸員によるギャラリートーク

10/22(水)、11/29(土) 各日14:00~(約40分) [申込不要・要観覧券]

◎たてび☆キッズウォーク

10/25(土)、11/22(土) 各日13:00~15:30 [申込不要・中学生以下対象・無料] *自由な時間に参加できます *参加記念品付き

◎2025・ボンボン生誕170周年記念イベント第2弾

*詳細はHP・SNSでお知らせします。 -特集展示「ボンボンの故郷ソーリュエ」 10/11(土)~12/14(日) -ボンボン・ツアー 11/23(日・祝) 14:00~14:30 [申込不要] *参加記念品付き

別館展示

「フランソワ・ボンボン関連資料より -ボンボンの磁器作品-」 10/11(土)~12/14(日)

群馬県立近代美術館のご案内

*詳細はHPをご覧ください。

◎「響きあう絵画 宮城県美術館コレクション」

9月13日(土)~11月9日(日)

◎「水野 暁 視覚の層 | 絵画の層」

9月13日(土)~12月16日(火)

【交通案内】

- 車: 東北自動車道 館林I.C.から約9km 北関東自動車道 太田桐生I.C.から約15km
○バス: 「館林駅西口」から、多々良巡回線バスにて「県立館林美術館前」下車すぐ(日・祝は直行便あり)。「多々良駅」または「館林駅西口」から、多々良北線バス(火・木・土のみ運行)にて、「美術館西」下車、徒歩5分。
○徒歩: 多々良駅から約1.2km(約20分)
○タクシー: 館林駅から約4km(約10分)

【東京都内からのご案内】

- 浅草駅または北千住駅から東武スカイツリーライン・伊勢崎線にて館林駅または多々良駅下車、特急「けうもう」の場合、浅草駅(北千住経由)~館林駅の所要時間は約60分。
○JR宇都宮線ご利用の場合は、久喜駅で東武伊勢崎線に乗り換え、久喜駅~館林駅の所要時間は約30分。

【バス時刻表】

Table with bus routes and schedules between Tatemba Station and Gunma Museum of Art. Includes columns for days (平日・土, 日・祝) and specific times for various routes.



表面作品

左上から時計周りに | ◎[花飾文花瓶]ロイヤルコペンハーゲン ヤニー・ソフィア・メイヤー 1910年 塩川コレクション ◎[プローチ no.306]ジョージ・ジェンセン ヘニク・コッペル デザイン1947年、制作1945年以降 個人蔵 Photo Michael Whiteway ◎[金彩鶯ツースポット]ピングオー・グレンダール デザイン: ピエトロ・クローン 1898-1914年 塩川コレクション ◎[皿 (ブルーフルーテッド)]ロイヤルコペンハーゲン ペインター: マティアス・ハンセン・ウォルストロップ 1785年頃 塩川コレクション ◎[蛙付筆皿]ロールストランド 1897-1910年 塩川コレクション ◎[花瓶 (ソネルツ)]コスタ アーネスト・ゴードン 1954年 個人蔵 Photo Michael Whiteway ◎[ソースポットプレート no.177 レードル no.141 プロッサムパターン]ジョージ・ジェンセン ジョージ・ジェンセン デザイン1916年頃 制作1929年頃 制作1931年頃 (レードル) 個人蔵

群馬県立館林美術館 GUNMA MUSEUM OF ART, TATEBAYASHI

〒374-0076 群馬県館林市日向町2003 TEL.0276-72-8188 (代表) FAX.0276-72-8338 https://gmat.pref.gunma.jp/